

R8.3.4 健康づくり推進協議会 記録

(課長)本日の進行につきましては、健康づくり課の佐藤の方で進めさせていただきます。

会長挨拶お願い致します。

(会長)皆さん、大変お忙しいところお集まりいただきまして、ありがとうございます。

皆さんに事前に資料がたくさん届いたと思いますが、第4次健康たいない21の検討ということで、とても重要な会議になると思います。

この胎内市の健康づくりの方向性について、委員の皆様から積極的なご意見をちょうだいできればと思います。

(課長)ありがとうございました。それではこれより、議事に入りたいと思います。

議事に入ります前に、議長については、健康づくり推進協議会条例第6条によりまして、会長が議長になるということありますので、これから議長として議事の進行を、会長の方からよろしく願いいたします。

(議長)まず議題の1であります。事務局からご説明をお願いいたします。

(先川主任)→(小泉主任)が説明

(議長)ありがとうございました。それではまず健康たいない21のパブコメの件も合わせて、委員の皆さまから質問やご意見をいただきたいと思いますが、いかがでしょうか。

パブコメでいただいたご意見はある程度反映したという理解でよろしいですか。

パブコメには、2人から意見をもらったようですが、概要版については既に作成することにしていたため、それはよいですね。あとで、概要版の中身は皆さんと一緒に詰めたいと思います。

たばこの件については、なかなか難しい面があると思いますが、個人的には妥当な線じゃないかなと思います。

(S委員)たばこの数値は集計間違いということではよろしいですか。

(M委員)たばこの目標について、行政の作る計画において「根拠なし」ではなく、理由が必要なのではないかと。

(小泉主任)数値は集計間違いです。令和元年度から令和6年度に至るまでに喫煙者割合は男性では4.6%、女性は3%減少しました。これは令和2年の健康増進法の改定によって喫煙者が減少したことが考えられます。

その前の計画のときの平成26年度からの減少幅は少なく、毎年一定数が減少していく訳ではないことを踏まえて、他市町村の目標設定を参考に1%ずつの減少を目標としました。

(議長)M委員の意見は、要するにそういうものを含めて、経年的に見ていくと、おおよここにしましたよ、というのをどこかに、皆さんの気持ちとして、入れておいてもらいたいという話ですよ。そのため、1%の減少という目標にした、ということによいと思います。

他にありませんか。概要版の話に移ります。全戸配布されるという話のため、今度はそれを材料にして、市民の皆さんと会話をしていくという事がすごく大事です。作って終わりではなく、この概要版なりをメインにして、保健推進委員や食推の皆さんに配布して「このようにやっていきます」と伝えることはものすごく大事なことです。

市民の皆さんはよい言葉ではないですが、とても頑張っているため、そういうところを褒めながら、これからの事業を進めていただきたいという風に思っています。

T 委員はいかがですか。

(T 委員) 禁煙に関しては自分も長年喫煙していますが、健康を害するもののため、推進していかなければならないと思います。

(W 委員) 海外では、たばこのパッケージで喫煙の害を啓発していました。先進国での喫煙者割合はどの位なのでしょう。そういうのも載っていれば励みになるのではないかと思います。

(議長) 海外のデータは手持ちがないのですが、M 委員によると喫煙率は日本に比べて低いようです。

(T 委員) 学校が関係するところというと、「児童・生徒の SOS の出し方に関する教育」になるかと思います。このような計画に位置付けて、学校と行政で連携してやっていく、というのはありがたいことだと思っています。

(傳参事) 学校教育課と一緒に、教職員も対象にして「ゲートキーパー研修」というものを行っており、今年で2年目です。市役所職員も対象です。

(T 委員) 研修会には自身も参加させてもらい、とてもよかったです。このような研修を市が計画している、ということが大事だと思います。

(議長) その成果も見ながら連携をしていくというのはこれからのキーワードになっていくと思います。ぜひ頑張ってくださいと思います。

(Y 委員) 養護教諭として、歯科保健は継続して取り組んでいきたいと思っています。学校によるかもしれませんが、歯科衛生士さんに指導してもらいました。そういった取組を継続して行っていきたいと考えています。

(T 委員) 私は元気づくりプログラムで長年活動させていただいて、いろんな研修を受けるなど、楽しいことをしてきました。それが、令和6年からギアチェンジをして元気ふやしよりも、病気減らしを進めるという方向性になっています。その活動をしてきたことが大変よかったなという思いがあります。行政にもすごく感謝しています。そして、いろんな人たちと仲間意識ができてそれとてもよかったなと思っています。行政の皆さんには、つなぎ役をしてそれとてもよかったなと思っています。行政の皆さんには、つなぎ役をしてもらい、また何か素敵なことができたらいいなと思っています。

(議長) そのあたりは、胎内市で特徴的な取り組みだと私も思っているの、これからどうやって広げていくかという所はすごく大事ななと思います。

(S 委員) 計画は専門家の皆さんが考え、また必要に応じて見直す、ということなので、よいと思います。1 ページの健康寿命とは何かを説明していただけますか。平均自立期間と同じものではないのですか。

(傳参事) 健康寿命というのは、何年かに1度しか出ない数字になります。一方、平均自立期間は毎年算出されていて、元気で日常生活が自立している期間のことを言います。健康寿命の指標の1つではありますが、同じではありません。

(K 委員) 元気ふやしの元気づくりプログラムはもう半分なくなりました。残ったものはいろいろな関係で自主的に継続することになりました。そのプログラムがまた新しいプログラムになって発展したり、合併したりしてほしいと思っています。参加していたメンバーが高齢化し、仲間づくりができない状態です。元気ふれあい広め隊は100人位いますが、今はその集まりもないので、そのような企画も今後入れてほしいと思っています。

(議長) そのへんの組織的な活動は私も評価しています。皆さんがおっしゃる通り、どのようにすれば持続できるか、さらに発展できるかの所はやはり大きな課題だろうと思います。そこを一概には言えないで、協働しながらやっていくのは大事だと思っています。それはまた宿題ということでお願いします。

(N 委員)メンタルヘルス研修会は大変勉強になりました。働き盛りの男性の自殺率が高いということで、今回のような機会があれば参加させてもらいたいと思っています。悩んでいる人の駆け込み寺となるような、そういう場所があればいいなと感じております。

概要版の内容は大変わかりやすくまとめられているなと感じました。しかし、色が多く使われていて「読みにくい」と感じる人もいるかと思いました。

(E 委員)「1日3回以上間食をする1歳6か月児の割合」ですが、令和元年のベースライン値は15.6%に対し、令和6年度には60.0%になっています。これは対象の変更などがあったのでしょうか。

(菅原主任)令和元年の時の1歳6か月児のアンケートでは、園と家庭での合計のおやつ回数を聞いていました。園で食べるものは補食として必要なものです。更に、家庭でも食べているかどうかを把握できるよう、園と家庭でそれぞれ何回食べているかを分けて聞くようにアンケートの様式を変更したため、回数が増えたと考えられます。

(議長)表現の仕方を変えたほうがいいのかもかもしれませんね。現状値の所は注意書きにするなどして、説明を追加したらよいのではないかと思います。

(A 委員)概要版はよいと思います。資料編が後ろだと見ない人が多いのではないのでしょうか。注釈をつける等したらどうかと思います。

(W 委員)素晴らしい仕上がりだと思います。一番の鍵となるのは市民にどれだけ届くかということ。この資料は完成度高く出来上がっていますが、市民の認知度は結構乖離があると思います。しっかりと資料を作るところからはまた離れたアプローチが必要です。

だいぶ噛みくだいて、情報量を減らして理解度を上げていくようにしないといけないのかと思います。

市報に載せるときにもうちょっとブラッシュアップして、市民がぱっと見て「読むのがつらいな」と思わせないような、そういうアプローチも検討してみてもよいかもしれないですね。

(議長)W先生がおっしゃったのは、要するに職員の皆さんが1番訴えたいことをどうやって市民に伝えていか、コミュニケーションができるかということが今問われているということだと思います。

そのあたりの意気込みを課長さんお願いします。

(課長)概要版は基本的には本編のほうから、これがポイントというところを抜粋したものになります。

そのため、これをさらに削って、となるとなかなかお伝えしにくいところがあると思っています。

職員で何度か検討したのですが、最終的にはこのような形をとらせていただきました。

また会が終わってから検討したいと思います。

(議長)題材がたくさんだと読みたくなるため、市報に「健康1口メモ」のような形で計画の中身を少しずつ載せていったらよいかと思います。

(副会長)先ほどE委員からも発言がありましたが、概要版の色のことです。せっかく表紙の基本方針のところが緑と水色とピンクに分けてあるので、中身の目指す姿のところは全部オレンジだと、「どう読んでいったらよいか」と感じました。そのため、基本方針1のところは緑でまとめる、母子保健・予防接種のところはピンクで…というように色分けされていたら見やすいのではないかと思います。

(議長)医療費分析があるのですが、これは私とS先生でも分析しています。すると、胎内市は糖尿病がとて高いです。分析の結果、健診で糖尿病の疑いなどが指摘されるときちゃんと医療機関に受診している、ということの裏返しだとわかりました。

そのため、糖尿病の人も多いかもしれないけれど、指導されて医療機関に受診しているために外来の医療費が高くなっている、と考えました。

受診すると、医療機関の先生たちがきちんと指導している、ということがわかったため、そういうことを市民にお伝えして、「医師と話をすればこういう指導をしてくれる」、と先ほどの健康1口メモに出せるのではないのでしょうか。

今日は歯科の先生もいらっしゃいますが、歯科の医療費は55歳位から一気に上がります。それは、きちんとかかりつけ歯科医をもっているからです。そのため、医療費が高くなります。年に1回受診して、歯がなくても噛めるようにしたり、入れ歯にしたりとそれを定期的に行っているため、医療費が上がっている、というような情報提供をもっとしていき、早期発見できればよいのではないかと思います。

(傳参事)令和8年度保健衛生活動計画(案)について、新規に行うことやこれから力を入れて行う事業を中心に説明させていただきます。

元気応援係の部分です。私たちは未受診者訪問に力を入れています。対象②では、以前W先生に「今の世代はQRコードで回答できるようにしたほうがいい」といったようなご助言をいただいていた。そのため、健診未受診の理由をQRコードで回答できるようにしたところ、多くの方が回答してくださった状況ですので、継続していきます。

未受診の理由は「医療機関に受診している」というのが1番多かったため、医療機関で実施する「みなし健診」を紹介していきたいと思っております。

次に喀痰細胞診検査です。これは50歳以上の方で喫煙指数が600以上の人を対象に行ってききましたが、昨年の厚労省のがん対策の課から、あまり有効でないがん検診(D判定)となったと説明がありました。県の説明会は2月にありましたが、県としては、令和8年度の実施は各市町村に任せて、9年度から廃止予定との説明がありました。近隣市町村に聞いたところ、新発田市・阿賀野市・村上市は令和8年度からやらない、聖籠町は8年度続けるとのことでした。検討した結果、胎内市も令和8年度から中止することに決定しました。

次は、前立腺がん検診です。集団健診を受ける50歳以上の男性を対象に行っていますが、精密検査になる方が多く、その人に話を聞いてみると、もともと医療機関に通っていてその経過観察として、市の健診で受けている、という方が多くいました。市内の泌尿器科の先生に聞いたところ、医療機関で定期的に検査をするようにした方がよいとご助言をいただきました。他の市町村では既に健診料金を値上げしていたため、胎内市でも同様に値上げをして、医療機関にかかっている人にはそちらで受けていただくような方向にしました。

自殺対策の内容になります。市ではゲートキーパー研修会、地域づくり研修会など様々行っております。民生委員や保健推進員は地域の人たちを支える大事な人材になっていると感じています。78ページの中段には、〈精神障がい者にも対応した地域包括ケアシステムの構築〉とあります。通称「にも包括」と言いますが、新潟県の支援を受けて、立ち上げたところです。今後は庁内でいかに連携していくか、ということが問われています。相談体制などをきちんと整理していくのに現在取り組んでいます。それと同時に、市民の皆さんをどうつなげて、支えていくかというあたりを今考えているところです。元気応援係では、そういったことに力を入れていきたいと考えています。

(菅原主任) ◆別紙のように説明

(議長)ただいまの説明に対し、ご意見やご質問があればお願いします。

(E 委員)来年度から5歳児健診が始まるとご説明がありました。小学校に入ると環境が大きく変わり、昼にしっかりと歯磨きをするという習慣が崩れる時期でもあります。就学に向けて、今一度指導していきたいと思いました。

(菅原主任)ありがとうございます。指導の内容については、歯科衛生士さん達にも相談させてもらいながら一緒に進めていきたいと思っていますのでよろしくお願いします。

(S 委員)親族を前立腺がんで亡くしているため、健診時の血液検査で簡単に検査ができるのであれば、多くの方が受けたらいいなと思っていました。なぜ値上げするのかと疑問に思っていたのですが、先ほどの説明を聞いてわかりました。

(傳参事)実は10年位前からあまり有効ではない検査と言われていました。しかし、医療機関に受診していない人が健診で早期発見できる機会を残しておくためにも値上げはしますが、検査は受けられるように考えました。

〈生きづらさを抱える人への支援〉について、元気づくりプログラムに参加してくれていた方などが、地域でのちょっとした声かけなどをしてきている人が増えています。そういう風に地域で活動してくれている人がいるのが胎内市の宝だと感じています。

(議長)そういったことは一朝一夕にできるものではなく、そういった面で胎内市では歴史があります。これからも、「協働しながらやっぺいこう」という働きかけをしていくのがすごく大事だと私も思っていて、期待しています。

(T 委員)これまで元気づくりプログラムなどで活動してきた人達と行政の方をつなぐイベントか何かをぜひ入れていただくのをお願いしたいです。

(議長)どこかの大学や病院の先生を頼むなどして、市民が望む情報が得られるようにできるとよいと思います。行政だけでやろうとするのではなく、ぜひ貴重な資源を大事にしてやっていただくといいでしょうか。では、細かいところは直していただいて、大枠はこれで承認ということでよろしいでしょうか。皆さん、本当にありがとうございました。

(傳参事)その他、ということで、委員のみなさんへの謝礼の振込みは4月になります。よろしくお願いいたします。また、令和8年度は食育推進計画の改定もありますので、食育に関心を持っていただければと思います。

(副会長)本日はお忙しい中ありがとうございました。皆さんの貴重なご意見をいただくことができました。また来年度よろしくお願いいたします。
